

平成 29 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金による「薬剤師が担う医療機関と薬局間の連携商法の検討とアウトカムの評価研究」研究班では、日本臨床腫瘍薬学会との協同により、薬局薬剤師が病院でのがん患者に対する治療・指導業務を知り、また病院薬剤師が医療機関・薬局連携において薬局薬剤師が抱えている課題を共有する一助として、抗がん薬治療の薬薬連携に関する DVD 教材を作成した。平成 29 年 3 月には、全国 47 都道府県の薬剤師会、病院薬剤師会に DVD 一式（業務紹介編、薬局編）をそれぞれ配布した。そして、平成 29 年 8 月に DVD の利活用状況についてアンケート調査を行った。

有効回答数：41 件

問 2 DVDを貴会の中で視聴したか

| | |
|---------|----|
| 視聴した | 23 |
| 視聴していない | 17 |
| 回答なし | 1 |

問 2-1 視聴した感想 (n=23)

| | |
|---------------|----|
| 非常に参考になった | 8 |
| やや参考になった | 10 |
| 参考になった | 5 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| まったく参考にならなかった | 0 |

問 2-2 業務紹介編、薬局編どちらのDVDが参考になったか (n=23)

| | |
|---------------|----|
| 業務紹介編 | 1 |
| 薬局編 | 4 |
| 業務紹介編・薬局編ともに | 18 |
| どちらも参考にならなかった | 0 |

問 3 このDVDをどの様に活用しましたか、又は活用する予定か。

(n=41、複数回答可)

| | |
|----------------------|----|
| 会員へ貸し出しを行い視聴した。 | 13 |
| 勉強会やセミナーなどで上映した。 | 4 |
| HP などに掲載し、視聴出来る様にした。 | 5 |
| その他 | 13 |
| 活用の予定はない | 8 |
| 未回答 | 1 |

問3 その他 回答

【薬剤師会】

- 役員が視聴
- 活用法について今後検討する
- 担当する委員会で検討する
- 研修会等で上映する等検討したい
- 県薬剤師会の薬薬連携推進委員会のメンバーで視聴した後に活用を検討したい
- 今後検討する

【病院薬剤師会】

- 病院及び開局薬剤師と DVD を視聴しディスカッションを行う予定
- 特に考えていませんでした。これから委員会と相談、検討してみます
- 今後理事会等で対応を検討していきます
- 県病薬と県薬の合同のシンポジウムで上映し、お互いの業務上の問題点解決のための導入として用いた
- 部会で検討中
- 理事会に報告し、活用方法を検討します
- 活用に関しては未定

問4 DVDを各地域で活用は、薬-薬連携の推進に役立か。(n=41)

| | |
|----------|----|
| とても思う | 9 |
| 少し思う | 12 |
| 思う | 16 |
| あまり思わない | 0 |
| まったく思わない | 0 |
| 未回答 | 4 |

平成 29 年 8 月

都道府県薬剤師会 会長 殿

抗がん薬治療の薬薬連携に関する DVD についてのアンケートのお願い

医薬分業が普及し、がん薬物療法における抗がん薬や支持療法薬が記載された処方箋が発行され、薬局において服薬指導する機会が多くなっていますが、医療機関と薬局の連携がまだ十分とは言えません。プロトコールに基づく薬物治療管理（PBPM）を活用することが医療機関と薬局の連携にも効果的な枠組みと考えています。そこで研究班として PBPM をがん薬物療法に適用するための標準手順を確立し、その効果を検証するとともに人材育成を目指しています。

前年度には医療機関と薬局の相互の理解を深める目的で「抗がん薬治療の薬薬連携に関する DVD」を作成し、貴会へお送りさせていただきました。今年度は PBPM に基づき薬局によるテレフォンフォローアップの実践を行うとともに、配布させていただいた DVD の利活用について調査することといたしました。

本調査は、昨年度の厚生労働行政推進調査事業として引き続き実施しています。本調査への趣旨をご理解いただきご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成 28 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金

「薬剤師が担う医療機関と薬局間の連携手法の検討とアウトカムの評価研究」 研究代表者 安原 真人

※連絡先：長久保 久仁子（ミキ薬局日暮里店）

e-mail : nagakubo132@miki.ne.jp

◎ 以下の間で該当するものを選択または記載してください。

問1 貴会について教えてください。

_____ 薬剤師会

問2 がん治療の地域医療連携（薬薬連携）推進企画のDVDを貴会の中で視聴しましたか。

1、視聴した → 問 2-1 へお進み下さい。

2、視聴していない → 問 3 へお進み下さい。

問 2-1 視聴した感想を教えてください。

- 1、非常に参考になった
- 2、やや参考になった
- 3、参考になった
- 4、あまり参考にならなかった
- 5、まったく参考にならなかった

問 2-2 業務紹介編、薬局編どちらのDVDが参考になりましたか。

- 1、業務紹介編
- 2、薬局編
- 3、業務紹介編・薬局編ともに
- 4、どちらも参考にならなかった

問3 貴会として、このDVDをどの様に活用しましたか、又は活用する予定ですか。
(複数回答可)

- 1、会員へ貸し出しを行い視聴した。
- 2、勉強会やセミナーなどで上映した。
- 3、HPなどに掲載し、視聴出来る様にした。
- 4、その他

5、活用する予定はない。

問 4 本 DVD を各地域で活用することは、薬-薬連携の推進に役立つと思いますか。

- 1、とても思う
- 2、少し思う
- 3、思う
- 4、あまり思わない
- 5、まったく思わない

問 5 貴会は薬薬連携の推進を目的とした勉強会やセミナーの開催を行っていますか。

1、定期的に行っている。

開催頻度（記載例：1年に1回）→ （ ）

→ 問 6 へお進みください。

2、あまり行っていない。

→ 問 5-1 へお進み下さい。

3、まったく行っていない。

→ 問 5-1 へお進み下さい。

問 5-1 薬薬連携の推進を目的とした勉強会やセミナーの開催が行えていない理由を教えてください。(複数回答可)

- 1、勉強会やセミナーの内容、企画、立案が難しいから
- 2、講師や座長などの選定が難しいから
- 3、薬薬連携のみでは会員の参加が少ないから
- 4、必要と感じていないから。
- 5、その他

[]

問 6 日本臨床腫瘍薬学会では、がん治療の薬・薬連携に必要な知識の普及を目的として、下記のテーマで各地域において行われているセミナー等に講師の派遣を行っています。

- ・抗がん薬による皮膚関連事象の副作用対策（手足症候群（HFS）、皮膚疹、爪囲炎等）
- ・血液検査値から解ること（骨髄抑制を中心に、腎機能障害、肝機能障害等）
- ・保険薬局薬剤師が出来る副作用マネジメント（悪心嘔吐、下痢、口腔粘膜炎、高血圧等）

問 6-1 この企画を利用したいと思いますか。

1. はい
2. いいえ

問 6-2 取り上げて欲しいテーマがあれば記載してください。

[]

以上、ご協力ありがとうございました。

返送期限 2017年〇月〇日までに回答願います。

